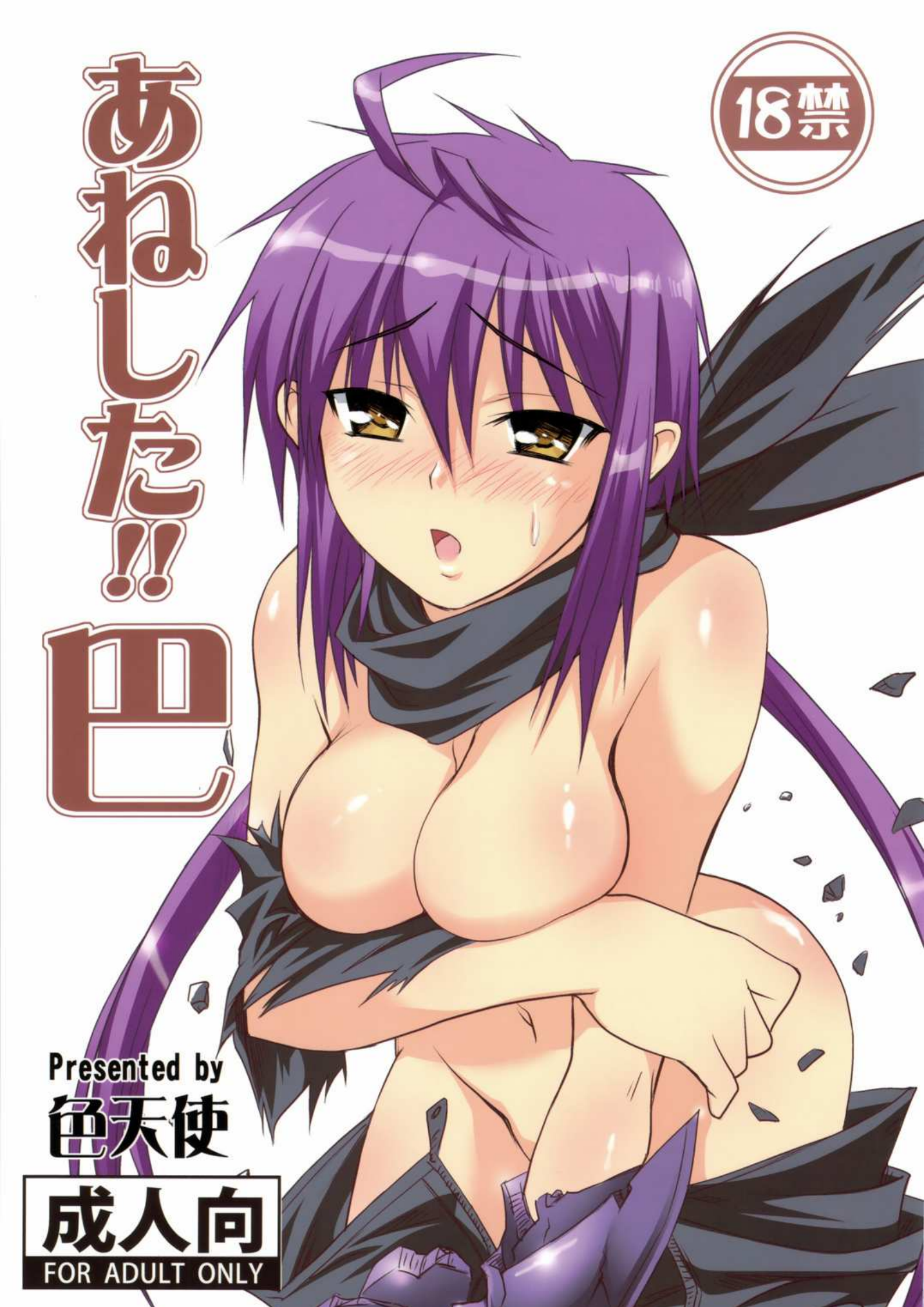


18禁

あね
した
!!
巴

Presented by
色天使

成人向
FOR ADULT ONLY





■ あねした！巴 ■

<目次>

5p 「姉、ちゃんとしてみました! 巴」
白猫参謀

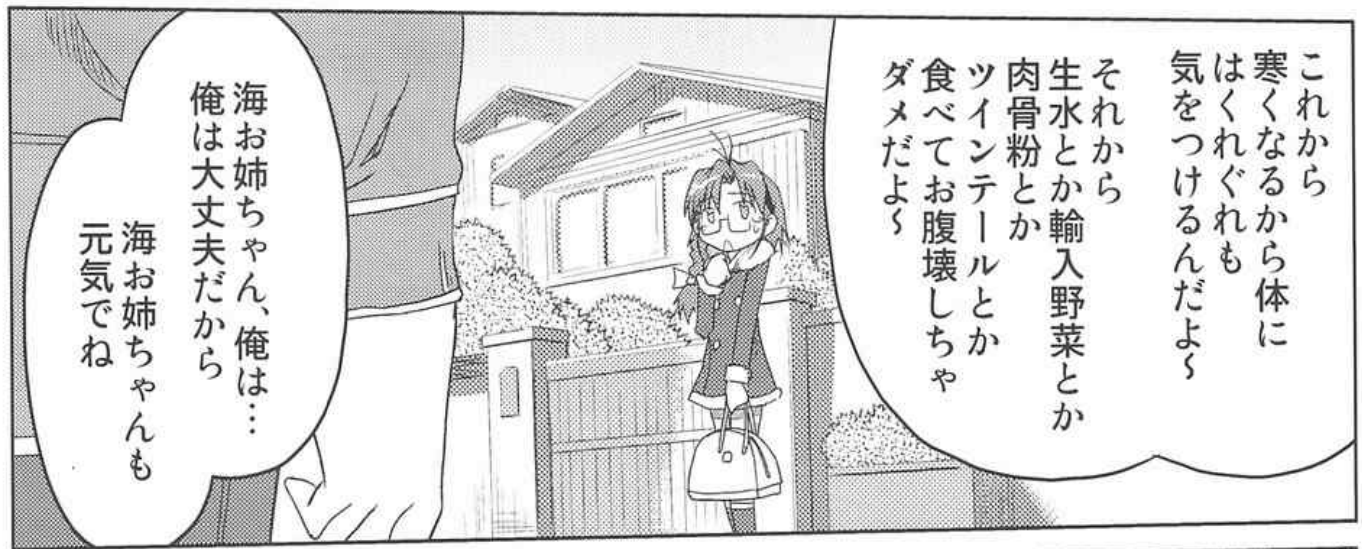
18p 「ともねえ新たなる力!」
タカヒロ



海お姉ちゃん…



お別れだね
くーや…



これから
寒くなるから体に
はくれぐれも
気をつけるんだよ
それから
生水とか輸入野菜とか
肉骨粉とか
ツインテールとか
食べてお腹壊しちや
ダメだよ

海お姉ちゃん、俺は…
俺は大丈夫だから

海お姉ちゃんも
元気だね



くーやは強い子だね
お姉ちゃんちよっと
さみしいけど
耐えてみせるよ

それじゃ…

サヨナラ…くーや



たかが三泊の旅行でも今生の別れでもあるまいに

だって

...



ええいっ! やめぬか大袈裟なっ!!

ヒョーン



安心せい 巴も空也と一緒に留守番である!! 減多な事は起こらぬわっ!!

あう



お姉ちゃん心配だよお留守守中にくーやが変な女に襲われるかもしれないんだよ?



この旅行のメンバーと居残り組は待った無しのカジ引きで決めるって皆で話し合って決定した事じゃない

いい加減にしないかい、海

あう...

そこの献身は最強だぞ

みじろき
お約束

アリアは...



巴さんは
きんこ

いっってくるねー!

と...
言うわけで

〜
〜
〜

Transformation



巴さんと
クー君が
お留守番...



...

カニだー
やー
やー

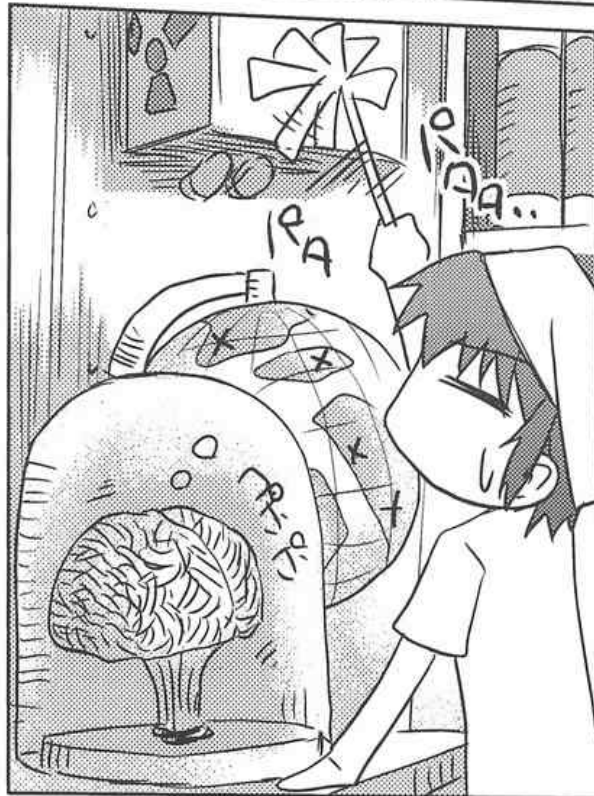
じゃあ
みんなが居ない
間に手分けして
大掃除でも
しちゃおうか

あう
賛成っ
よく気が
ついたね
偉い偉い♪

じゃあ俺は
姉様と海お姉ちゃん
それと高嶺姉貴の
部屋を掃除するね

うん分かった
私は残りをやるけど
疲れたら無理しないで
私に回してね

平気平気
じゃガンバロー
オー



ふえく…
疲れたあく

ともねえく
ちよっと
休憩にしようか

あう
了解っ
先に休んでて

ともねえは
毎日こんな
重労働を
してるのか…

感謝の念が
絶えません…

おまたせく



お疲れ様
空也：

お風呂にする？
ご飯にする？
それとも…
わ、私にする？



どどど
どーしたの
ともねえ!?
一体なにが…

ともねえ…
騙されてる
騙されてるよ…

空也も
沖縄にいたとき
大好きだったって
聞いたから…

あう…
歩笑ちゃんが来て
琉球王家に伝わる
お留守番の作法で

ええっ!





あうん!!
あうん!!

わてが
正しい留守番の作法
さしあげま!!



そ、そーだよね
何か変だなとは
思ったんだ...

もじ

...

くゆり



ピキーン!!
本物の留守番作法とは
そのような生易しいものじゃ
あらしまへん!!

DNA流
社交術
家元降臨

誰?

えええ!!
作法が
間違って
るの!?



あうん!!



あうん!!

香りを存分に
堪能したら次は
いよいよ味を
楽しむでおます



喋り方が
変だよ!?

ちよっ
空也っ!?



あうん!!

まずは香りを
楽しむのが正し
作法でおます

七瀬と汗臭いよ
ともゆり



ともねえ
涎じゃない汁が
溢れてきたよ



あう…
そんなこと
…ない



ええ
でもこの味は
確かにともねえの味



空也…
そんなところ
舐めちゃ…ダメだ

ぐわ
ぐわ

ぐわ







激し...
過ぎるよう

くう...や
らめえ...

あああ〜っ!!



あう…少しは
留守番作法
習得出来たかな…



なんだっけ
それ？



かの一茶も
裸エプロン道に
身分の上下なしと
言ったとか
言わないとか

歩笑ちゃん
博識ねっ♪



ただいま！！



おかえりなさいーい
姉さん達
旅行はどうでした？



空也分が
足りないよ？

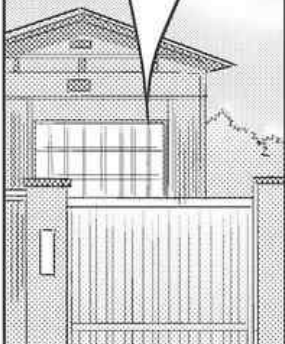
ペンギン
シヨウが
中止に
なったわ

肉が少ない！！
量も足りない
ニヤー

サービスが
イマイチだわ
接客態度も失格ね

子供呼ばわり
しおった！

やっぱ
我が家が
一番！！





「ともねえ新たな力！」

タカヒロ

終巴は人外の化け物、クロウとの戦いを繰り広げてきた。しかし、クロウも出現率はここ最近でガクンと減ってきて、事態は解決へと向かっているように見えた。このまま平和になればいい、と思いつながら戦い続ける巴。家族には弟以外に自分が指輪の戦士である事は秘密だが、その秘密もこのまま貫け通せそうだった。最近犠牲者も出ていないと思えるし指輪の戦士をやっている良かったとすら思えるようになっていた。

「だいたい難しく考えすぎなのトモちゃんは。敵が来たから倒す。また現れたら倒す。それでいいじゃない」

同じく仮面の戦士に纏身する月白透子とは仲間とまでは言えないが、共通の敵がいるとの事で時には共闘している。仲良し、とまではいえないが縁はあった。

それだけでも前に比べれば大きな進歩である。全ては、上手く回り始めていたが――。

夜 0時42分 鎌倉由比浜海岸

「ウワアアア化け者だ……！」

海岸で若者が、クロウに襲われていた。

そこに巴のバイク「ラスカル」がかけつける。

巴はバイクをクロウと襲われてる人間の間に滑りこませた。

「早く逃げて下さい！」

襲われている者を逃がす――ここからが本番だ。

「やっぱり引くわけにはいかないよね？」

「ギイッ」

「……仕方ない」

「纏身ッ！」

指輪の戦士へと変貌を遂げていく巴。

「ジ・ガアアア……！！！！ ジガアアア……！！」

クロウが指輪の戦士を見て呻いていた。

爪を思い切り尖らせて怪物が巴に襲いかかる。

――その時、クロウの頭に野球ボールが直撃した。

「ようし我ながらクールなコントロールだぜ」

巴のサポートをしている空也だった。

空也のボールを投げて相手の頭に当てる行為は、ダメージを

狙いに行くのではなく注意を逸らすことだった。

そして十分にクロウの注意は逸れていた。

「パープルストライク……！！！！」

巴渾身の一撃が怪物の腹に命中した。

「ギイエエエ……！！！！」

断末魔とともに爆散していく怪物。

殴った手が痛い――。

敵である怪物もまた、命あるもの。

優しい巴は必殺技をいれることに戸惑ってはいたのだが。

クロウは、人を襲うという点がもうどうしようもない。

いつか家族が襲われるのでは、と思うと巴は容赦がない。

「ギイイッ!?!」

クロウが吹き飛ばされると、驚いて逃げ出した。

「あいつ逃げるよともねえ! 頭いいやつだ!?!」

巴がジガの形態のままラスカルに乗りこむ。

すると、ラスカルの形状が進化していった。

ラスカライザーと呼ばれるバイクは高速で発進し、クロウの追跡をはじめた。

時速が600キロは出るこのバイクからは逃げられない。

国道134号を凄まじい速度で獲物に向かっていく。

「ギイ……ギイ」

逃亡したクロウは、ひとまず逃げ切れて安堵していた。

が、それは逃げられたという思い込みにすぎない。

ジガのラスカライザーが突っ込んでくる。

寸前で、ジガはバイクをウイリーさせた。

巨大な前輪がうなりをあげてクロウに襲いかかる。

「ギイイッ!?!」

怪物は為す術もなくバイクに体を粉々に砕かれた。

また、みんなを守る事ができた。

巴は、ほっとして纏身をといた。

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

纏身を続ける事で強力な細胞が巴の中に混じった。

馴染むまで時間はかかったが、ついに馴染んだのだ。

これでももう纏身後の後遺症の心配をする事も無い。

「むしろこんなに元気がわいてくると、あれだね。病気にもかかりずらくなっていると思うよ」

「凄いな。それいい事づくめじゃん」

「うん、やったやった。もう纏身後隠れなくていいんだ」

「良かったね、ともねえ」

「うんっ」

ともねえは天真爛漫に頷いた。

「あう、なんだかお腹減ってきた」

「帰ろうか」

「あはは帰ったら2人でお祝いしようよ、空也食べたい料理あれば言ってみてね。お姉ちゃん作るからさ」

「わあい、何にしようかな」

「ふふふ、可愛いなあ空也は(頭なでなで)」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

元気になりすぎて、性欲も増してしまったようだ。体が食事をもとめ、次に男を求めているようだ。

「それ、解決方法知ってるよともねえ」

「え、本当に？ どうすればいいのかな」

「俺もともねえの弟だ！ 役に立つぜ！」

言うが早い、俺は服を脱ぎ去った。

「あう？ な、なんで脱ぐの？ え？」

「満足いくまでご奉仕します！」

「あうー……？」

俺は下着姿のともねえを天真爛漫に押し倒した。

「く、空也、ダメだこんな事したら……！」

「ともねえ、体がエッチしたがってるんだよホラ」

ともねえの下着を軽く擦った。

「はうっ……？」

「ほらね……だから俺に任せて」

「あうあう……」

ともねえの下着全てとり、裸にさせた。

「それじゃ、その体満足させてみせるぜ！」

俺の弟のしての、聖なる戦いが始まった。

「んっ、あ……空也、手つきがいやらしいよ」

「ともねえの疼きにこたえるためだよ」

見事な巨乳と尻を思うまま揉みつつ、ともねえをどうやって

気持ちよくさせて上げようか考える。

「やはり、奉仕と云ったらこれかな」

俺はともねえの、濡れた秘裂に口を押し付けた。

「ふう、んっ……ああ……」

ぬめった舌で秘裂を上下にレロレロとなぞると、ともねえが

ピクンと腰を反応させる。

「気持ちいい？」

「あ、あうう……ん、あ」

吐息が甘くなっている。

ちゃんと感じてくれている。

「それなら奉仕を続ける！ ……レロレロレロレロ」

「はあ、あふう、ふう……空也……」

ふとももの部分や秘裂の周囲も丹念に舐めていく。

「ちゅぱ、れる」

「……あう……恥ずかしい……音立てたらダメだ」

ともねえの吐息をBGMに、舌の動きをどンドン激しくさせていく。



「ピクピク震えてるよともねえの。くちゅ、れろ……」
とろり、と膣白から透明な液体が溢れてきた。

「あ、ともねえの体液……飲ませてもらうね」
白濁汁を舌ですくい取って舐める。

「ん、く、ア……あ……あうっ……」
「あんまり腰動かさないで」

秘裂自身をむっちりと口でキスしてしまった。
そこから汁をそのまま吸い出していく。

「ふあああ、くうんんっ!? んあ、あふう、ふう……」
「こっちの穴もね」

今度はともねえのお尻を左右に割り開いた。
そしてむき出しになったアナルにも舌を這わせる。

「ああっ、いやっ、空也だめ……んあ」
ひくつくアナルを唾液でベトベトにしてから膣口に戻る。

今度は舌をねじこんで、内部の粘膜を刺激してみた。
すると、汁の量がさらに増えてきた。

「ぢゅるっ……こくこく……ともねえの美味しい」
「あう……恥ずかしいよお」

「ほら、ともねえも気持ちよくなってる」
秘裂を舐めながらクリトリスも指で擦り上げた。

「っはあ……? あ、あああっ」
ともねえの勃起してきたクリトリス。

その包皮を舌で剥いていく。
充血した剥き出しのクリトリスを指でつまんだ。

「はああっ……あ、あああっ……」
ともねえの腰が大きく跳ね上がった。

今度は濡れた舌で転がすようにクリトリスをいじり続ける。
「はあ、くっ……あう、あ、空也……空也……あ、あ、あ！」

「んちゅ、ちゅっ……ちゅるっ、ともねえ気持ち良さそう」
「あう、わ、私もう……」

「うん、気持ちよくイってともねえ！」
舌を膣穴にヌプリと挿入し、ザラついた部分を刺激した。

「あああああ……っ……っ……」
プシュッ……!

「わ、凄い、ともねえ、潮を……」
「くうっ、は、恥ずかしいっ……」

ともねえの潮吹きを顔で全て受け止めた、
残りの汁をチュチュル吸うと、ともねえは甘い声をあげた。

「顔がともねえの汁でベタベタ……」

「そ、そんな事言わないで恥ずかしい……」
「気持ちよかったんなら嬉しいよ。奉仕を続けるね」

思いきり勃起した俺のペニスを濡れた秘裂に挿入した。
「んあ、ああ空也の熱いのが入ってる……」

「ともねえも……中、熱くてトロトロだよ」
ともねえの足をしっかりと掴み、ペニスをより膣内深くへと突き入れていった。

そのまま、ともねえの巨乳を揉みしだく。
思うまま揉んでいると膣肉が甘く締め付けてくる。

「あっ……ああっ……あああ、空也」
ペニスが子宮の入り口をコツンとノックする。

「ともねえ、腰浮かして」
ともねえはリクエスに応じて自分の腰も浮かしてきた。

ペニスをグリグリ動かし、膣内を擦り立てていく。
「あっ、あっ、あっ……」

腰を力強く、そして早い間隔で打ちつけていく。
「く、空也……私また……あ！」

「くうッ……で、出るっ……、ともねえ……」
「ああーッ! 空也! くうやあーッ!……」

ドピュッ! ドクッ、ドクッ、ドクッ、ドクッ、ドクッ。
「あ、ああ……出てる……」

ともねえが満足そうに女体をピクピク、と痙攣させていた。
しっかりと奉仕が出来たと見えよう。

「ありがとう空也……」

ともねえが俺の頭を優しく撫でてくれた。
「今日はそれ俺の役目(頭なでなで)」

「あ……」
「たまには甘えていいよ、ともねえ」

「本当？」
「うんうん」

「……あうー」

ともねえは嬉しそうに抱きつき、すりすり頬ずりしてきた。
「いつもお疲れ様、ともねえ」

慈しむように頭をなで続ける。
俺は優しいともねえの力になりたい。

これからも纏身したらセックスしよう。
それが俺の戦いだっただ。

俺の決意も知らず、ともねえは幸せそうに寝ていた……。

夏コミ「姉ちゃんとしてみました！」SS挿絵



夏コミ「姉ちゃんとしてみました！」表紙



後書き タカヒロ

お買い上げありがとうございます
 タカヒロです。
 ゲストとしてSS書かせて頂きました。

今回の本はともねえ祭りじゃありませんが!

そもそも何故ともねえが特撮ヒーローになったか。
 これはPCゲームのアトラク=ナクアに原因があります(責任転嫁)

女の子が実は妖怪だったとかファンタジー設定は業界では
 よくある事。でも大抵妖怪といっても美少女そのものだったり
 しますよね。で正体を現したバージョンもせいぜい

- ・尻尾がはえた
- ・兽脚的な耳がはえた
- ・爪が伸びた
- ・キバがはえた(吸血鬼系)
- ・翼がはえた(天使 亜人種系)
- ・喉の音が変わり

程度じゃないですか。
 別に非難しているわけではなく、これはこれで素晴らしいものだと思えます。

しかし当時20歳になりたての私はこう思っていました。
 「どうせ生物的存在なら、姿そのものをいじり物にした方がいい
 それを受け入れてこそその愛ではないか」と。
 そこでアトラク=ナクアで初音様様の全身蜘蛛糸ヒをみて
 「らん! やっぱ全身変えてしまおう」という事であの姿で
 行く事になりました。
 ちなみにジガのモチーフはエンマコオロギですよ。

そもそもなんで変身ヒーローやねんって設定は
 当時アギトや龍騎がはやっていたので影響受けました。
 壬生さんはアギトの本野さんがモチーフだったりします。

そんなライダーもついに2009年は平成ライダーが大集合とか! こ! これは見るしかないでしょう。

今度は自分も本出せるように頑張ります。
 それではまた。2008年 12月30日 タカヒロ



えーと白猫参謀です、この度はともねえ本
お買い上げ頂き、誠にありがとうございます

本当はいろいろ書きたいところではありますが
実は数分後に入稿締め切りという現状なので
お察してください…

次は(出来れば)冬コミでお会いしましょう！

きみある漫画も買ってね♪

白
猫
参
謀



- 発刊 2008年 12月30日
- 発行: 色天使 代表: 白猫参謀
- 印刷: サンライズパブリケーション 様
- 連絡先:
URL:<http://www2.tky.3web.ne.jp/~smdw/>
メールアドレス:smdw@tky3.3web.ne.jp
- 18歳未満の購入、閲覧を禁ず
- 作者の許可無く無断で転載・複製を禁ず

姉ちゃんとお
してみました!

田

ペルソナ4SS 告知

タカヒロです。お買い上げありがとうございます。

私も白猫参謀さんに触発されて同人誌(小説)を、
と思ったんですが本業のゲームの方が忙しくて
発売を遅らせる事にしました。
これは、せめてもの予告ペーパーです。

「ペルソナ4」直斗救出後、陽介達のクラスの委員長が
マヨナカテレビに引きずりこまれ、新たなダンジョン
「処刑場」が出現。風邪の番長(主人公)を
欠くヨースケ達がその戦いに挑むという。
でもダンジョン中でこんな会話をしているの

「なあ完二」

「ウッス花村先輩？」

「天城のペルソナ……変わってたよな。覚醒つつの？」

「オス。精神的に成長できたって言ってましたよね」

「……日曜日は、天城、あいつの家にお見舞い行ったらしいんよ。」

「菜々子ちゃんが法事で家にいられないから」

「それが？」

「お見舞いにいった次の日に、ペルソナが覚醒していた」

「……深いっすね。なんか」

「勘ぐっちゃうだろ」

「はい」

「お前ちょっとそこんところ聞いてこいよ」

ギャグ系ですね。

なるべく整合性は考えてますが割り込んでる分どうしても

苦しい所あるのはご愛敬で。

文・タカヒロ 絵・白猫参謀 で来年イベントで販売予定です

お楽しみにー 12月30日 タカヒロ 黒を愛する